

令和6年度 第4回西区まちづくり懇話会(要旨)

1 日 時 令和7年(2025年)2月19日(水)15時～

2 場 所 西部公民館2階 A 会議室

3 出席委員(14名)

川副会長、安部副会長、久保委員、大嶋委員、上村委員、福島委員、徳永委員、
本田委員、松島委員、清川委員、西委員、吉永委員、田尻委員、内村委員

4 議事要旨

●議題1 第3回懇話会の振り返りについて

(上村委員)

第3回懇話会で出た意見に対し、いずれも改善といたしますか、発展があり、いい方向で検討していただいて感謝している。自治会の活動をイラストで紹介する冊子についても、なかなかいいと思った。

(本田委員)

先日、「社会を明るくする運動」のワークショップに参加したが、その折に高校の生徒指導の先生から、「どんどんボランティアの要請してほしい。ボランティア活動は大学受験や就職で非常に認められている」というお話があった。

学生も積極的になっているということですから、どんどんボランティアの要請をしていただきたいと思う。

(安部副会長)

多分ボランティアをやりたい人はたくさんいるが、それを吸い上げてこういう募集がありますよと見せるほうが大変なのかなと。

地域の困りごとなどを何でもやりますというのは、ボランティアでは多分ない。そのルールの線引きが多分難しいだろうとは思いますが、地域のイベントなのか活動なのか、一般公募をかけるのか中学校や高校にお願いするのか、そこがキレイに整理されると、地域としても何をお願いしていいのか依頼も出しやすいかと。何かやりたい人はいっぱいいると思うので、その交通整理ができるといいと思う。

(川副会長)

ボランティアは目的が大事だと思っている。単なる労働力という形に見えないよう、参加してよかったと学生に思ってもらいながら地域に貢献できる、というイメージが大事。それが次のボランティアにつながっていくと思う。

(安部副会長)

ボランティアしたらこんな良い事があったなど、フィードバックとして見えるようになると他の学生が参加しやすいと思うし、活動も活発になるのではないかな。

(本田委員)

参考までに。熊本市ではモデル校でコミュニティ・スクールの制度を導入しているが、これから地域の方が学校の会議に参加し、学校だけで解決できない問題や学校と地域のコミュニケーションを図るために、色々な話し合いがされていく。この制度を活用すると地域と学校の結び付きや地域の活性化がされると考えている。

●議題2 西区フェスタ2025について

(本田委員)

にぎわいづくり実行委員会の委員構成を教えてください。

また、野菜の販売があるようだが、西区の特産品には他に果物や海苔など海産物もある。これらの出店は難しかったのか。

(事務局)

にぎわいづくり実行委員会の構成員は西区在住の方やイベント等に携わっている方、タレントさん等の外部委員と西区の職員となります。

果物の販売について、芳野地区の生産者の団体のブースにて「はるか(みかん)」と「不知火(デコポン)」を販売予定です。また、池上地区のブースよりネーブル100%ジュースを販売予定となっております。

(川副会長)

千原台高校さんが3/16日にブースを出店されるとのことなので、何かコメントや結果がどうだったかなどがもしあれば、次回の懇話会で紹介いただければと思う。

今回、かなりチャレンジされていて、非常にいいなと思っている。是非このチャレンジをやってみて、うまくいったところは常勤化していくという流れで進めていただければと思う。

●議題3 その他

(徳永委員)

懇話会の日程について、職業柄なかなか参加できない事がある。1日ずらすだけでも全然違うこともあるので、少し検討をお願いしたい。

(川副会長)

全員が揃う日程がいいと思うので、調整を事務局のほうにお願いできればと思う。

5 西区でやろう！アイデアコンテスト審査会

【提案アイデア】

西区の隠れた料理レシピを発掘するコンテスト

<閉 会>